

立川総合病院における令和8年度の循環器病対策推進のための計画

令和7年度（2025年度）は、当院として特に取り組んだ事項はなく、新潟大学主導の疫学調査への協力の契約をしたのみです。

令和8年度（2026年度）は以下の取組を計画しています。

1. 循環器専門でない診療所、中小病院の先生に各循環器疾患の診療をお願いする際に使用する、病診連携パスまたはガイドの作成、普及につとめる。 疾病ごとであるが、その中に、血圧目標値、LDLC 目標値、抗血栓薬の扱い、デバイスが入っている場合の MRI 対応などのガイドも含む。すでにできているものがあれば、それを活用
2. 無症候性心房細動の発見には、検脈指導、携帯心電計、Smart または Apple watch が有用であるが、個人での心電計の所有は経済的に困難である。貸出用の携帯心電計を循環器内科専門施設に普及させたい。
3. 動脈硬化性疾患最大の危険因子である高血圧については、加藤先生が疫学調査など推進されているが、脂質異常、家族性高コレステロール血症（かくれも含めての把握）についても、若年からの介入が予防効果大であり、これを推進するセンターをつくりたい。

令和7年度 第2回新潟県循環器病対策推進協議会 資料

2026年3月6日

新潟県リハビリテーション専門職協議会

理学療法士 田中 健

「令和7年度の取組報告」

1. 循環器リハビリテーション領域の研修会の開催

2025年12月3日 「理学療法において必要な循環器領域の基礎知識を学ぼう」

県内参加者 58名(理学療法士 55名 作業療法士 3名)

2026年2月15日 「心不全がもっと深く、もっと分かる」

県内参加者 103名(理学療法士 103名)

「令和8年度の事業計画」

1. 人材育成として（研修会の開催）

理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会での、循環器や脳血管疾患のリハビリテーション分野の研修会の開催

（各士会の研修会に相互に参加可能となるように広報や参加費について統一する）

2. 就労支援の取り組み

退院後の復職や再就職に向けての取り組みを推進

「高次脳機能障害者支援法（高次脳機能障害者の支援に関する特別措置法）」